

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 26 年 3 月 27 日 (2014.3.27)

【公表番号】特表 2012-517945 (P2012-517945A)
 【公表日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-031
 【出願番号】特願 2011-549722 (P2011-549722)
 【国際特許分類】

B 6 7 C 3/14 (2006.01)

B 6 7 D 1/14 (2006.01)

F 1 6 K 1/40 (2006.01)

【F I】

B 6 7 C 3/14

B 6 7 D 1/14 Z

F 1 6 K 1/40

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 31 日 (2014.1.31)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 8】

そして、本発明は、請求項 1 に従った、容器に充填するための充填バルブを実装することによって、上記の目的を成し遂げることを提案するが、その充填バルブは：

- 充填液の通過のための空間の輪郭を画定し、前記容器の一つに前記液を導く孔を備えたバルブ本体、及び

- 前記バルブ本体の中でスライドする、前記孔の第一シャッターを備え、

前記第一シャッターは、その第一端部にシール要素 (sealing element) を備え、それは、前記孔を、液密に (fluid-tightly) 閉じるように適合し、前記バルブ本体の底部と連携して、前記空間と前記孔の間のサイフオンの輪郭を画定するように構成され、液体偏向要素 (liquid deflection element) が前記孔に収納され、該要素は、それに交差する液体に回転成分 (rotational component) を与えるように構成され、該回転成分によって、液体それ自身が充填ステップの間、容器の壁に付着することを可能にし、前記液体偏向要素は、前記第一シャッターの前記第一端部に、一体として固定され、直接接触することを特徴とする。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 0】

上記の充填バルブは、概して図 1 の 1 で示されているが、それが備えるのは：

- バルブを垂直に動かすキャリッジ 1 1 であって、そのおかげでバルブが滑らかに動き、同時に、滑り接触 (sliding contact) の回数と、ボトルへ滴り落ち得る濡れた表面の拡大を限定するキャリッジ 1 1；

- バルブ本体 2 であって、自身に対して、フレキシブルパイプ 3 を通って充填液が送り込まれるバルブ本体 2；

- 前記バルブ本体 2 に収納された第一シャッター 4 であって、制御ステム (control stem) 15、及び、その下方端部に、バルブ本体 2 の内部の底面に付着するように適応した、弾性のあるいは他の適切な材料で出来たシール要素 (sealing element) 16 を備える第一シャッター 4 ;
- バルブ本体 2 の内部の底面とシール要素 16 によって輪郭が画定された、充填の水位を制御するためのサイフォン 5 ;
- バルブ本体 2 からボトルへの液の流れを、乱流も、偏向要素 (deflection element) をボトルそれ自身の中に導くこともなく可能とする、バルブ内偏向システム (deflection system) 6 ;
- キャリッジ 11 に組み込まれた空気圧アクチュエータ 7 であって、充填ロータリーの外部の固定カムによって作動する (図示されてない) 空気圧交換器 (pneumatic exchanger) によって制御されており、自身によって、プロダクトシャッター (product shutter) 4 が開放される、空気圧アクチュエータ 7 ;
- シャッター 4 に組み込まれた排出パイプ 8 であって、充填ステップの間、ボトルに含まれる空気を排出し、充填ステップの最後 (泡を排出し、温度を保つステップ) に液体を再循環させるために用いられる排出パイプ 8 ;
- 対応する空気圧アクチュエータ 10 とともに、第二シャッター 9 を備える再循環バルブ 1' であって、それは、主要なバルブ本体 2 にはめ込まれており、予備加熱と、機械が停止した際の温度維持のステップの間、バルブ内再循環を可能にし、内部洗浄処理 (procedure) の終わりにバルブ内のサイフォン 5 を完全に空にする、二要素から成る (two-fold) 機能を持つ再循環バルブ 1' である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

ボトルの充填水位を制御する為のサイフォン 5 は、シャッター 4 を上げ下げするアクチュエータ 7、およびそれに一体化されたシール要素 16 によって、作動する。このシール要素 16 は、大体、帽子のような形状をしている。バルブ本体 2 の底部には、シール要素 16 と共にサイフォン 5 の輪郭を画定する、環状の突起部 19 が備わっている。